

第4回 小学校再編に関する地域住民説明会（千代小学校区） 概要

- 日 時 : 令和元年 10 月 23 日（水） 19 時開始
- 場 所 : 千代小学校体育館
- 参 加 者 : 20 名
- 教育委員会 : 小野寺教育長 他 8 人
（事務局）
- 内 容 : 1. 開 会
2. 教育長あいさつ
3. 教育委員会職員紹介
4. 配布資料確認
5. 説 明
① 学校再編の目的
② 学校再編の具体的方針
③ 検討プロセス
④ 今後の進め方
6. 質疑・応答（意見交換）
7. 閉 会

地域・保護者等から出された主な意見と回答

○今後の進め方の件で 12 月から 1 月の間に調査アンケートを行うという予定があるが、調査アンケートを行うのは 3,000 人。この 3,000 人というのは、この小松島の小学校規模の保護者・関係者の皆様にあたる人数なのか。

→（回答）

3,000 人で考えているのは、市内全域各小学校区で年齢・性別を無作為に抽出して 3,000 人の方にアンケートをお願いする予定。

○教育委員会の皆さんや小松島市の皆さんが再編について頭を悩ませて僕らの前に足を運んでお示しくださるのは分かるが、教育委員会の皆さんが地域の皆さんに求めることは何かあるか。こういうことを地域にやってほしい、例えば、この再編を止めるためには地域の人がどうやって行けばいいのだろう、地域がどうすればこういう計画を立てなくてよかったのだろうかということを知りたいのだが。

→（回答）

市の人口が減ってきている。それに合わせて児童生徒の人数も減ってきているということで、このままいくとそれぞれの小学校で児童数が減って行って今回の再編ということに至っており、ある程度の人件規模がよりよい環境だろうということで再編を出させてもらっている。小学校が新たにできてという時代もあった。

○昨年の基本計画の説明のときに、再編にあたって児童数の減少と書いてあるが、基本的に 1 学年 1 学

級の学校がほとんどで、それを解消するためにも複数のクラスにするために3校ぐらいというふうには説明を受けていた。そのときも学校の施設も新たにしていきたいと言っていた。千代小だけでなく小松島市内の各小学校ほとんどが老朽化して新しくできるのかなと期待をしていた。校舎設備も新しくできて、例えば南中学校のように設備が整って子どもたちが学習するために本当にいい施設ができたと思っている。小学校もそれと同じような形で将来、小松島の小学校が3校だろうと4校だろうとできるものと期待をしていた。しかし、この案を見ると市の説明で最後に出てくるのはお金がない、どんなときでも言われる。去年聞いた話では、小学校も良くなるのかと期待はしていた。がっかりしたのは今まである施設を何とかして使ってやっていこうかみたいだし、3校を4校というのも和田島さんと児安さんだけ何でなるのかなと。勝手な想像だが、距離的な問題とかもあるのかなと。仮に、2校にしてしまえば児安さんとか和田島さんとかが離れたところにあるのは分かるので、そこには児童数などは関係なしにおいておこうかと。期待していたのはこの案ではない。南小学校や児安小学校は残るのだが、名前はどうか。

→ (回答)

新しい4校の施設を基本的には改修だが、今のところはどの施設をどうするのかは決まっていない。それぞれ校舎は老朽化しているので、使えないところは建て直しをすること。児安小学校と和田島小学校のことについては先ほどの通学利用者とその割合というところにあるように、当初2校案で考えていた。だが、位置的な問題もあり、敷地の面積等を考え合わせると、北部地区については南小松島小学校地区、南部については新開小学校地区で考えていたが、先ほどお話しした1,800mの外側の方の児童数を算出すると、例えばこの2校案だと全児童数の36%の方が支援を必要とする。特に、新開小学校区を見ていただくと半数以上の方に通学支援が必要になってくる。そこで、基本目標が3校程度ということだったので、4校案だと通学支援が必要な方は16%と一番少なくなる。校区については基本目標の中でもお示ししているように今の11小学校の校区はそのまま再編するということを目指していたので、その中で検討した結果4校案が一番通学支援が少ない。学校の名称については、再編の準備委員会の方で考えていくようになる。

○児安小学校区などでももう少し人数が増えれば「1学年2学級」になるということも考えられるのでは。校区を広げれば、南小学校がとて多くて児安が少ないといった、いびつなことを解消できるのでは。

→ (回答)

今回の再編については2030年を目途としており、その時点での児童の校区を変更するというのではなく、今の校区で再編をしていくということで基本方針にのっとり計画を進めている。

○前回3校で、今回は4校で説明をいただいたけれども、基本方針が校区を変えないということであったのだが、人数の比が違い一人あたりの先生の数は変わらないとしてもよい教育環境にはならないと思う。従前の校区ありきで説明をされているのも分かるが、あまり納得ができない。3校とか4校とかではなく、これで人数比が最適と思われているのか。去年のアンケート調査とパブリックコメントだけで広報し、実施計画案をまとめたと思うが、どういったアンケート結果やパブリックコメントがあって説明会があるということで納得していたが、今回の説明会の後、またアンケートやパブリックコメントをすると案ができるので、未来への小松島市の子どものことを考えたことを期待している。そこで3月に案ができたら、あらかじめ資料などを提示していただきたい。4校における人数比の納得できる説明と、

来年3月にできる案についての住民説明会について回答をお願いします。

→ (回答)

9ページの表を見ていただきますと、当初は2校案で検討を進めていたのが、通学支援の方が全体の36%の方が必要になってくる。新開小学校区においては54%の方に通学支援が必要になってくる。そこで3校案、4校案を検討することとなった。その組み合わせについてシミュレーションで検討した結果、南部地区では和田島地区と新開地区で再編するのが最も通学支援が少なくなる。同じように北部地区でも検討した結果全体で4校案が最も通学支援が少なくて済む。

○通学の問題だけなのか。今、通学支援をしているのは南小松島小学校だけ。その割合はどうなっているのか。また、再編というのは子どもたちのため。私たちの頭では、まったく新しい学校をシャッフルして作ってくれる、そうすると他の市外の人たちも小松島にはいい小学校があるんだな、これから子育てをする市外に住んでいる方たちが小松島に移住しようかとなると、もっと子どもが増える。大企業が来なくても、小松島はいい小学校があり、小松島に移住しようかと思えるくらいの小学校を作ってほしい。小松島は今、大きな企業もないし、どんどん人口も減っている。小松島の教育ってすごいな、となれば徳島に住んでいる人も小松島に移住しようと思う。そのためには立派な施設を作って立派な教育を受けられるようにしてほしい。通学支援については、スクールバスなどをきちんとすれば保護者も安心して送り出すことができる。そういうふうに考えてほしいと思う。この通学支援のことばかりを言われてもちょっとと思う。

→ (回答)

11会場を回らせていただく中で、保護者から、再編によって校区が広がり、そんなところまでランドセルを背負っていけるのだろうか、との意見をいただいた。教育理念を一番に考えて、小松島の教育を素晴らしいと言ってもらえるようなものにしたいと考えていたが、朝子どもが行ってきますと言ってたがいまど帰ってくるのが一番大事。教育理念も大事だが、少しでも歩いて行ける事を一番に考えた。

○それならば再編をする必要はないのではないのか。今でも千代小学校区の端から通っている子どもは20分くらいかかる。そこでお母さんが心配してくるまで送り迎えをしている。また、南小松島小学校区に再編されたとき、幹線道路も狭く混雑したり、災害が起こったときなどでも心配である。人数比率にしても納得ができない。3月に案ができたならまた住民説明会をしていただけるのか。

→ (回答)

12月から行われる地域住民へのアンケートの結果とパブリックコメントから成案にすること。アンケート結果によっては今の案を大きく変えなければならないようなことであれば、再度地域住民への説明会をさせていただく。

○大きく違う場合というのはどんなときなのか。

→ (回答)

再編案の賛否についての結果から学校数を変えなければならない場合について、根幹が変わるので再度説明をさせていただく。アンケート結果については公表する予定。

→ (回答)

理念の部分は非常に重要なことであって理念が出てこない再編はあり得ない。先ほど小中一貫校のこ

とが出たが、再編室でも他県の事例についていろいろ調べている。一般に小中一貫校というのは同一敷地内にあるというイメージが非常に強いが、違う敷地にある場合や、1中学校2小学校や3小学校という事例もある。では今までそれが何故できないのかということだが、現在の時点では1中学校6小学校という形になる。それだけの数になるとなかなか全ての教育活動を上手くまわすことはできない。だから、1中学校2小学校というのは今まで以上に連携がしやすい。ただ、小中一貫校になるかどうかに関しては準備委員会の中で具体的な話をしていく。1中学校2小学校にして連携をしやすい状態をつくる。それによって理念を達成する案を出させてもらっている。

○南小松島小学校区は600人となるけれども規模的には十分にまわしていけるものなのか。

→ (回答)

南小松島地域は過去にも600人、700人、800人の時代があり、運動場の敷地面積も基準をクリアしている。その敷地で再編するというのを計画している。現在の南小松島小学校の校舎で、基準を満たしている。

○教育委員会はスケジュールで動いている感じがする。文科省は学校再編について手引きを作っているが、その手引きの中には学校規模は行政が強制的に進めるものではないとあり、地域と共にある学校づくりの視点を踏まえた丁寧な議論が必要だと言っている。そう考えると来年の3月に結論を出すというのは早過ぎはしないか。もう少し議論して、納得できるようにして進めるべきだと考える。もう一つは、試しに徳島県内の小学校を調べてみた。県内には小学校が195校ある。その内、23が休校。小松島は11校のうち、8つの小学校が1学年1学級。徳島県では残りの172校のうち99校が1学年1学級。中には、6年生までも入れて3学級くらいしかない学校もある。57%の小学校は1学年1学級でやっている。何故そうなのかと考えると、それぞれの小学校には歴史がある。地域の住民は小学校を中心として動いている。朝の登下校、運動会も町民一体となってやっている。小学校は交流の場。もっと議論をしてもらいたい。結論が早過ぎる。地域に必要なので1学年1学級でやっている。小規模は小規模なりのいいところがある。例えば、千代小学校で学んだ子どもと南小松島小学校で学んだ子どもとは社会人になったときに千代小学校の子が適応性に欠けることがあるのか。私はないと思う。教育はそんなものではないと思う。よく議論をして結論ありきにならないようにしていただきたい。一つ例を紹介させていただくと、県外で小中一貫校でやったところがあるのだが、つくば市。そこの教育長が、あれは間違いであったと反省し手記を出している。1学年2学級というのは財務省の方針。このことを盛んに言っている。これを全国でやったら5,462校が削減できる。教職員も大幅に減らせられるのだと。小学校の再編は財政的な問題もある。小松島市公共施設管理計画というのが再三出てくる。教育委員会とは関係ないが、本庁の方の考え方で公共物の建物や床面積を減らさなければならないということを国の総務省から要求されていて、聞くところによると20%じゃないですか、小松島の減らしていくところは。一番ねられるのは学校。市役所のどこを減らせられるか。公民館も減らせない。ミリカホールも体育館も減らしようがない。出された計画書の中に再々こういったことが出てきている。だからよく議論して。

○前回参加したときに2校程度くらいという話があったので、これはもう1校でやむなしなのか。実際に予算のことなども考えていた。最低2校は死守してほしいという中で、本当に市民の意見をよくくみ入れられて、泣く泣くというか、本当に4校にまで絞られたのかなど。人口も児童数も減っている、

さらにどんどん減ったのでということではあったが、予算的に2校と言っていたのが4校になり、どんなものなのか。

→ (回答)

教育委員会としてはよりよい教育を行いたい、ということで今回の案を出させていただいており、10月2日には総合教育会議ということで市長をはじめ説明をさせていただいている。教育委員会としてはこの案を説明させていただいているのだが、先ほどからお金の面についてお話しをされていると思うのだが、予算要求をする立場であるので、この案で大丈夫かということはお答えはしにくい。

○その言葉をお聞きして、今までいろいろな議論を経て4校になったことを市民としては嬉しく思うので、市民としても考えていかなければならないと思った。新しい建物を建てずに、今あるものを活用していきたいというのも、先ほどお話しにあったように、各学校には歴史があるので、この千代小学校も天皇陛下の云々かんぬんの中で、千代という言葉と災害を通じて埋め立て地がどんなに恐ろしい土地なのかといろいろと考える中で、千代の松原ということで、そこまでが陸地では海だったという歴史を踏まえて、この千代小学校というのもすごい歴史の部分と自然環境の部分といろいろと考えたら、もう少し考慮してもいいのかなと千代の卒業生として発言をしておきたいと思う。スケジュール的な部分で、今あるものを活用するとか2校の話が出ていたので、予算的には1校になるかなあと思っていた。でも、11校を回る中で皆さんの意見をお聞きいただき4校まで絞り込んだのだなあと思う。スケジュール的な部分で皆さんからもう少し意見を聞いていただきたいという意見もあるので、そこらも汲んでいただきたい。あと、前回のときも同じ事を言ったが、私事になるのだが私の娘がバレーをやっており、千代にはないということで芝田まで通わせているのだが、初め入ったときには部員が少なくて試合にも出れないと、その状態でスタートしたのだが、いい監督がつけば他所からも来てくれるし、全国大会にも2回ほど出場できるほどのチームに仕上がっており、やはり皆さんもハードの部分でご苦労されていると思うが、ソフトの部分を考えれば、魅力あるものになるのではないかな。市民も知恵を絞るので、スケジュールの面でも考えていただけるようお願いする。

○2校3校4校とあるのだが、同じ施設を使うということは、なくなる学校の人たちは不公平感がすごくあると思う。それはよく分かるし、予算面で同じ施設を使うことも分かる。幼稚園も以前はたくさんあったが、今は南小松島幼稚園と立江幼稚園しかない。学齢の子どもがいて、幼稚園も含めて全てにあてはまる。お話しを聞いて不安ばかりだが、小学校の先生はいい先生ばかりで何の問題もないと思う。幼稚園から小学校へ上がる子どもの数で決まると思っていたが、幼稚園については南小松島幼稚園しか延長保育をしないということでそちらに行ってしまうと、小学校に上がる時、同じ友達と入学したいということで南小松島小学校は増えたと思う。人数については増えることも考えられるが、そのときはどうするのか。

→ (回答)

住宅を建て替えられて人数が増えることがあるかもしれない。学校は教室数が、普通教室と特別教室で構成されているが、1クラス35人を上限としているので、もともと見込みが20人であれば10人増えて30人になっても教室数は大丈夫で、増え方にもよるが、変動数も見込んで基本計画を立てている。もし、足りない状況が見込まれるのであれば、その敷地に増設して建てるなど建設計画に変更が生じる場合があると思う。

○大きな道を越えて行くのは不安なので、道のこっち側とあっち側という案はないのか。例えば徒歩圏内であっても、大きな道路は不安なのでそのあたりも考えて編成を考えていただきたい。

→ (回答)

通学路の安全対策についても計画的に話し合っている。安全対策について開校までにできるように、申し入れなどをしていきたいと考えている。

○南小松島小学校の子どもが多いというのは、預かり保育というのもあると思う。もし、南小松島小学校に多くの子どもが集まるとなれば、子どもを持つ親は南小松島小学校の近くに家を建てたいと思う。そうするとどんどんと人が集中してこの辺は寂しくなるのではないかと思う。極端な話だが、千代小学校の所に1校建ててもらって、家が増えたらという意見を持っているのだが、私も最善の案を立てるために知恵を出したいと考えている。しかし、今日も誘ったが、今日は聞くだけ、そこで意見を言ってもどうしようもないという意見が多く、知恵を出したいけれども出す場所がない。あとはアンケートが意見を出すチャンス。でも、3,000人の中に選ばれなかったらパブリックコメントになるのかなあと思うのだが、忙しい中で自分でパブリックコメントを上げようとしないと出せない。だからなかなか厳しいのでは、と思う。今後、意見を出すのはこの2つしかないのか。

→ (回答)

アンケートについては、12月上旬くらいには案内をさせていただくが、今の段階では3,000人の方に各小学校区ごとに無作為に配らせてもらう予定だが、そのうえでパブリックコメントをいただく。ここに来られていない方や関心のない方については今後学校再編についての分かりやすい資料で広報を行い、市民の皆さまにご理解いただけるようにしたいと考えている。

○先ほどあったように、南小松島小学校には幼稚園もあり、同じ学友と上がりたいのでそのまま小学校に上がり、自然に増える。そのうえ、さらに近くに新たな小学校が増えるとなればさらに増えるだろう。4校案でなぜ校区にこだわるのか。再編するのであれば校区を取り払って、保護者が行きたい小学校、学童がある小学校に行くとするれば、将来的に2校になるという可能性があるのではないか。今は校区にこだわって4校案が出てきている。千代小学校区の子どもが児安小学校に行くことを可能にする再編するのであれば、保護者が通わせたい学校や学童にすれば必然的にそのバランスもとれてくるのではないか。大勢の600人の子どもがいる学校に行かせたい保護者の方もいるだろうし、少人数の学校に通わせてしっかり学ばせたいという保護者もいる。校区にはこだわらない方法を模索して、行きたい校区に行くというのも一つの考え方ではないのか。

→ (回答)

校区を取り払ってという意見もあることは十分に承知はしているが、まず基本計画にあるように校区ごとの再編をする。そうすると当然、住んでいるところによっては違う校区の学校に行くほうが近い方もいるとは思いますが、校舎を建てるときに校区を外してしまうと何人の規模になるのか予測できない問題もある。過去にも、校区は少し変わってきた経緯もあり、再編については今の校区でさせていただくが、将来的には校区については見直しを考えなければならないときが来るかもしれない。しかし、今回の再編については今の校区で考えていく。

○初めは2校案で考え、その後11小学校区を考えていく中で安全面も考えて4校案になった。出された意見を考慮し、通学面から4校案にさせていただいた。それなのに、あまりにも校区にこだわりすぎているのではないか。校区を外せばこの学童に行くかも分からないし、減少する学校もあるかもしれないので、今は校区を決めて行わなければならないという考え。では、将来的に校区の見直しは行うのか行わないのか。

→ (回答)

変える、変えないは別として検討は行う。

○検討というのとは行わないのと同じ。このような意見は今まで出なかったのかどうか。

→ (回答)

こちらの小学校が近いからどうかなど、こういった話は今までも出ている。